

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 834

事業名	商工振興事業補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	産業振興部	商工観光課		款	商工費・7款
電話	0799 - 37 - 3012			項	商工費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	商工振興費・2目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職 食 づくり 夢あふれ 働く場を生み出すまちづくり	南あわじ市補助金交付規則		
	まちづくりの目標	南あわじブランドの確立【商工業】			
	施策目標	異業種の連携により、地場産業の企業経営を革新し、高収益化と雇用の拡大をめざす			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助	

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	対象(誰を・どのような状況の人に)	市内の商工会員		対象人数(人)	2,139
	目的	<p>意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)</p> <p>商工会が行う商工会事業について、予算の範囲内で補助し、南あわじ市の商工振興並びに発展に寄与する。</p>			
	実施内容	<p>(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)</p> <p>商工会から提案された商工会事業(物産交流事業、市中央商友会街路灯維持事業、街路灯維持事業等)について、緊急性・事業効果等内容を精査し、予算の範囲内で補助している。</p>			
	背景	<p>(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など)</p> <p>近年、長期にわたる景気の低迷により、零細中小企業が大半を占めている本市の商工業は低迷を続けており、度重なる大型店舗の出店が、それに拍車をかけている状況にある。</p> <p>昭和35年に旧町により設立、また、平成18年度の商工会の合併以来、地元商工業の振興・発展を目指すため商工業振興施策を図っている。</p>			
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他	(南あわじ市商工会)	
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 合併後、新市において事業内容により調整する。(合併協議事務調整方針)				

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	商工振興事業数			指標単位 件
	指標説明 (指標算出方法等)	商工会が実施した商工振興事業数			
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	8	2	3	2
	実績値	8	4	3	
	達成度 (%)	100.0	200.0	100.0	-
	目標値設定の考え方	商工会が実施した商工振興事業数			
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	商工会組合員 商工会員の参加人員			指標単位 %
	指標説明 (指標算出方法等)	組合員の中から商工振興事業に参加した割合を指標とした。			
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	1,518	2,139	2,139	2,139
	実績値	1,159	2,139	2,139	
	達成度 (%)	76.4	100.0	100.0	-
	目標値設定の考え方	商工振興事業に参加した人員数			
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	直接事業費 (千円)	5,925	3,357	1,160	1,830
	緑町(どんとこい祭り、人材育成事業)	1,250			
	西淡町(第2創業塾、地域通貨)	750			
	三原町(個店活性化、商工まつり、元気塾、街路灯維持事業)	3,925	530	308	
	南あわじ市(広域連携等対策事業、物産交流事業、街路灯維持事業、経営革新支援アドバイザー-事業)		2,827	852	1,830
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	5,925	3,357	1,160	1,830
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
事業量2(事業に要した人数)					
年間経費([A]+[B])	5,925	3,357	1,160	1,830	
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	2.8	1.6	0.5	0.9	
受益者人数(2,139)1人当り経費(千円)	2.8	1.6	0.5	0.9	
経費に関する補足説明	H19年度：街路灯維持助成、物産展交流事業補助金（H19年度から商工振興事業に統合）				

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	100.0	200.0	100.0	-	
(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 商工会及び商工会各支部において計画どおりに事業を実施され、予算の範囲内に支給している。							3
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
		%	76.4	100.0	100.0	-	
	成果向上率	%	-	84.6	0.0	-	
	(事業実施による目的に対する有効性分析、問題点・課題などを記入。) 商工会が実施する振興事業について、市が補助することにより、商工業者の負担の軽減を図り、経営の近代化及び本市商工業の発展をはかる。						
							3
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
		千円	740.6	839.3	386.7	-	
	効率性増減率	%	-	13.3	53.9	-	
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 事業内容により経費、負担金等差異があり、一概に評価しにくい、商工会の組織率や商工業者間の団結力がやや低下の傾向にある。						
							3
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低						自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 市の経済を良くし、市民に潤いを与え、安定した生活が得られるような、商工業の振興・発展を図るような事業展開が必要である。						
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>				
	商工業の振興を図ることは、地域活性化に結びつく大切なことであり、市民の安定した生活が送れるよう、まちづくりの一環として行政の支援が必要である。						

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	本市においては大型店舗の進出、コンビニエンスストアの出店が顕著であり、時代に即応した事業展開が必要であり、行政と商工会が一体となって取り組まなければならない状況下にある。	同左
(現状維持以外の改善方法)	旧町単位に中心商店街が点在しており、中長期的な視点から、商工会・行政が一体となって単年度毎に協議して必要な事業を推進していく。	同左
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	中長期的な視点から、市のあるべき姿を見出すとともに、時代の流れに即した商工行政を展開していく。	同左
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 廃止になれば、零細な商工業者が多い本市において、経営が困難になり、市全体の景気が悪化することが懸念される。	